

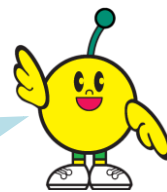
小中学生向け10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ



福島を応援する「ペコ太郎」

福島県では、昔大きな地震があったみたいだけど、今はどうなっているのかな？
ニュースや新聞では「**廃炉**」や「**処理水**」ってよく見るけど、なんだか難しそうだなあ…

そんな福島についての疑問を、わかりやすく紹介したのが、「**小中学生向け10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ**」なんだ！
10の疑問に分かれていて、最後には**クイズ**もあるみたいだよ。



福島県復興シンボルキャラクター「キビタン」

10の疑問

掲載ページ二次元コード



- (1) 地震と津波の被害はどれくらいだったの？
- (2) 原子力災害はどんなものだったの？
- (3) 放射性物質ってなんだろう？
- (4) 廃炉作業ってなんだろう？
- (5) ALPS処理水ってなんだろう？
- (6) 避難指示等区域ってなんだろう？
- (7) 福島の食べ物はどうなったの？
- (8) 福島の観光はどうなったの？
- (9) 福島イノベーション・コースト構想ってなんだろう？
- (10) 風評被害ってなんだろう？

ページ例

◇小中学生向け◇

10の疑問から学ぶ 10の疑問から学ぶ 10の疑問から学ぶ 10の疑問から学ぶ

ふくしま復興のあゆみ

福の花

福の笑

Aの写真は何だかわかるかな？これは「**福の花**（ふくはな）」という福島牛のブランドだよ。ふくしまの道の産物として育てているから、「福の花（ふくはな）」と名付けられたんだ。Bは、福島県のオリジナルブランドいちご「**ゆずやけべり**」だよ。大粒で、形も良く、色は鮮やかだった鮮やかな赤色であることが特徴なんだ。

Cは、「**福、笑い**」という由来だよ。全国でも有名な米どころ・福島県が開発した。甘み、香り、ふよふよが自慢のトップブランド米なんだ。「**福、笑い**」をけん引役として、県産米全体のイメージと販売価格の向上を目指しているんだよ。Dは、「**常磐**」ものと呼ばれる、福島県産の豚肉の旨味を最大限に引き出した豚肉だよ。身が締まり、味がよく、ヒラメやカツオ、メヒカリ、シラスなど100を超える種類があるんだよ。

福島県
2025年3月24日発行

① 地震と津波の被害はどれくらいだったの？

2011年3月11日の地震は、マグニチュード9.0を記録し、国内観測史上最大級の地震だったんだ。福島県では**最大震度6強**を記録し、地震で建物や橋が崩れたり、土砂が崩れたりもしたんだ。海沿いの地域は、津波で大きな被害を受けたよ。

各地の震度と被害状況

津波被害：須賀川市

津波被害：白河市

津波被害：いわき市

津波被害：浪江町

この地震で亡くなった人は、4,179人※（2025年2月1日時点）。そのうち、地震・津波が直接の原因で亡くなった人は1,605人で、そのほとんどが津波によって亡くなった方なんだ。また、その後の避難生活などで体調を崩して亡くなった方は2,348人で、このようにして亡くなってしまったことを、「**震災間接死**」というよ。

※死者が報告されていない、とくたえものとして数えられている方が2226名を要する

④ 廃炉作業ってなんだろう？

原子力発電所は、今は「**廃炉**」に向けて作業が進められているよ。廃炉とは、原子力発電所の運転を停止して、解体することというんだ。今は、**土**の**作業**に分けて進められていて、全て終わるまでには、30年から40年かかるというわれているよ。

廃炉作業の内容

①使用済燃料プールの燃料取り出し

燃料プールの燃料の中には、使用済みの燃料が残っています。燃料は放射線量が非常に高く、放射能が強いので、取り出し作業は、慎重に行われています。燃料を取り出す際は、放射線量を厳密に管理し、安全な状態で保管するため、燃料を取り出し、罐内の燃料プールの燃料取り出しを行います。

②燃料プールの燃料取り出し

燃料プールの燃料を取り出す際は、放射線量を厳密に管理し、安全な状態で保管するため、燃料を取り出し、罐内の燃料プールの燃料取り出しを行います。

③汚染水処理

汚染水は、原子力発電所で発生する放射性物質を含む水です。放射性物質を除去し、再利用可能な状態にする必要があります。また、汚染水を地下や海中に漏れさせないようにすることも重要です。

④風評被害対策

風評被害とは、放射性物質の拡散が心配され、放射性物質が拡散しているにもかかわらず、風評被害が拡大している状態を指します。風評被害を軽減するためには、放射性物質の拡散状況を正確に把握し、適切な対応を行うことが重要です。

- ・ 震災から14年以上が経過し、風化が進む中で、若い世代への**記憶と教訓の継承**が課題となっています。
- ・ 未曾有の複合災害の記憶と教訓を「**自分事**」として捉え、復興に向けて挑戦を続ける本県の姿を学ぶきっかけを作るため、復興の状況を分かりやすくまとめた資料です。
- ・ 復興に関する**10の疑問**に答える形で、説明には図や写真、グラフを多く使用するなど、小中学生にも分かりやすい内容としていますので、是非ご覧下さい。